

I 期 (一般)

令和 2 年度

武蔵野大学大学院 工学研究科 建築デザイン専攻 入学試験問題 (9月22日)

[専門に関する筆記試験 建築計画・建築史]

【1】文章の () 内の空欄を埋めなさい。(1、8、10、12、は人名が入る)

「新しい建築の5つの要点」(近代建築の五原則)は1926年に(1)によって提唱されたものである。その原型は、1914年の「(2)システム」という提案までさかのぼることができ、それは、(3)という当時の新たな建築材料を、ラーメン構造という構法を用いて採用することを前提として、①(4)、②(5)、③(6)、④(7)、⑤屋上庭園という、いずれも造形的な特質を示す五点が提示された。

ポストモダンへと向かう時代の流れのひとつとして、(8)が著書『建築の多様性と対立性』(1966)で述べた、「(9)」という言葉がある。これは、(10)の逆説的言辞「レス・イズ・(11) (より少ないことは、より豊かなことである)」をもじったレトリックである。そしてさらに、「(9)」という価値観を横目でにらみながら、改めて近代社会のもうひとつの隠されていた姿、「欲望」という名のエッセンスを発見したのが、OMAを率いる(12)だった。(12)は、20世紀のもつリアリティをもたらした根源として、欲望を肯定し、「(13) (より多いことは、より豊かなことである)」と宣言した。

【2】次の語句と最も関係のある語句を下欄の<選択語句>の中から選び、その番号を()内の空欄に埋めなさい。

- ・「装飾は犯罪である」(『装飾と犯罪』、1908):(14)
- ・第3インターナショナル記念塔(1919):(15)
- ・立体最小限住宅:(16)
- ・CIAM:(17)
- ・パターン・ランゲージ(1968):(18)
- ・批判的地域主義:(19)
- ・ディスプレイング:(20)

<選択語句>

- ①アドルフ・ロース
- ②バーナード・チュミ
- ③ケネス・フランプトン
- ④ウラジミール・タトリン
- ⑤池辺陽
- ⑥クリストファー・アレクザンダー
- ⑦チームX

【3】「職寝分離」の意味とそれを提唱した建築家(研究者)を挙げ、さらに、この考えを応用して提案された『51C型』の意味と提案をした建築家(グループ)を挙げよ。また、『51C型』が現代の我々の生活に対して及ぼした意義を述べよ。(自由記述)

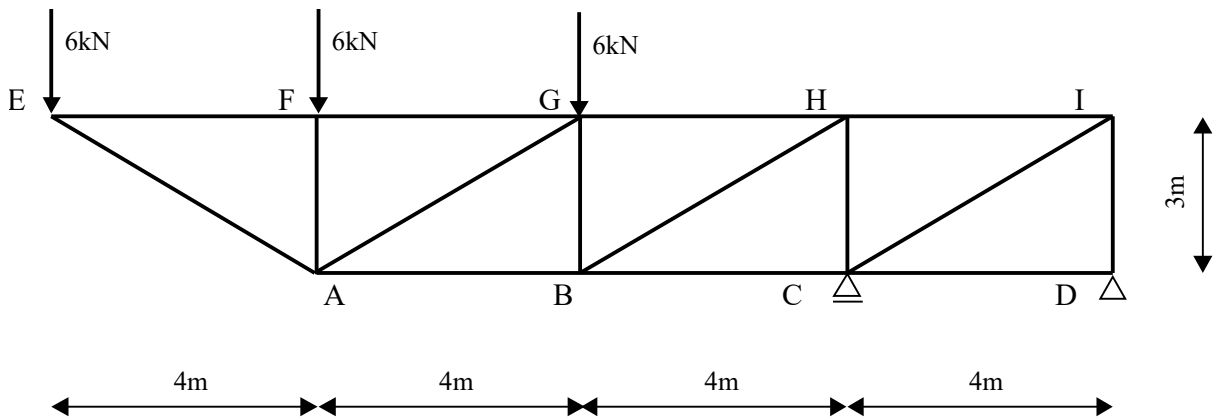
I 期 (一般)

令和 2 年度

武蔵野大学大学院 工学研究科 建築デザイン専攻 入学試験問題 (9月22日)

[専門に関する筆記試験 建築構造・構造力学]

下図に示すトラス部材 BH に生じる軸力 N_{BH} を求めなさい。
ただし、引張力と圧縮力がわかるように記入しなさい。



武蔵野大学大学院 工学研究科 建築デザイン専攻 入学試験問題 (9月22日)

[専門に関する筆記試験 建築環境・建築設備]

問題は非公開とさせていただきます。